(ID　0　) ☆7

治療計画書

療法名　DBd(皮下注)　療法　1サイクル 3 週

疾患名　再発又は難治性の多発性骨髄腫(1サイクル目)

注射		商品名	用量(/回)	投与ルート	投与時間	1							2							3							4						
内服	Rp		用量(/日)	用法		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線		照射部位	照射量																														
注射	1	生理食塩液	250 ml	点滴	キープ	●							●							●													
注射	2	生理食塩液	50 ml	点滴(側管)	キープ	●							●							●													
注射	3	ベルケイド	1.3 mg/㎡	皮下注		●			●				●			●																	
		生理食塩液	2.5mg/mLで溶解																														
注射	4	ダラザレックス	16 mg/kg	点滴(側管)	フローシートに従う	●							●																				
		生理食塩液	1000 ml	全量1000mLに調製																													
注射	5	ダラザレックス	16 mg/kg	点滴(側管)	フローシートに従う															●													
		生理食塩液	500 ml	全量500mLに調製																													
注射	6	生理食塩液	50 ml	点滴(側管)	ルートフラッシュ	●							●							●													
注射	7																																
注射	8																																
注射	9																																
注射	10																																
内服	1	レナデックス	20 mg	ダラザレックス投与1-3時間前		●							●							●													
内服	2	レナデックス	20 mg	1日1回朝食後			●		●	●				●		●	●				(●)												
内服	3	クロルフェニラミン	6 mg	ダラザレックス投与1-3時間前		●							●							●													
内服	4	カロナール	1000 mg	ダラザレックス投与1-3時間前		●							●							●													
内服	5																																
内服	6																																
内服	7																																
放射線			Gy																														

特記事項

・インフュージョンリアクションGrade1～3の出現時はダラザレックスの投与を中断し、回復した場合には出現時の半分以下の速度で投与を再開できる。Grade 3のインフュージョンリアクションが3回出現した場合およびGrade 4のインフュージョンリアクションが出現した場合は、ダラザレックスの投与を中止する。

・75歳を超える、過小体重(BMI:18.5kg/m2未満)、コントロール不良の糖尿病又はステロイド療法に対する忍容性がない、もしくは有害事象を発現した患者には、レナデックスを20mg/週に減量して投与可能。

減量規定

薬品名	ベルケイド				
標準投与量	1.3 mg/㎡				
1段階減量	1.0 mg/㎡				
2段階減量	0.7 mg/㎡				
3段階減量	投与中止				